

当院にて口唇・口蓋裂にて矯正治療をされた患者様へ

この度、東京歯科大学歯科矯正学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みに
なり、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名

「口唇裂・口蓋裂患者の歯科矯正治療による形態変化とその安定性の検討」

2. 研究目的

口唇裂・口蓋裂は顎顔面口腔領域で最も頻度の高い先天奇形疾患であり、歯科矯正医を含め多くの領
域の専門医によるチーム医療にて治療を行います。乳幼児からの長期的な治療を要し、また治療後の長
期的なメンテナンスが必要となります。

そこで、口唇裂・口蓋裂患者の歯科矯正治療および治療後の形態変化を調査し、口唇裂・口蓋裂患者
における歯科矯正治療の安定性を検討することが本研究の目的です。これにより、口唇裂・口蓋裂患者
における診断・治療計画の立案と術後の保定治療法の確立の一助となります。

3. 研究方法

本研究は当院矯正歯科にて1981年1月から2018年12月の間に口唇裂・口蓋裂による不正咬合と診
断され、歯科矯正治療をされた患者様を対象としています。対象となる患者様の症例調査票を作成後、
レントゲン写真、CT画像および歯列模型を用い、顎顔面および歯列弓を形態学的に計測・評価し、その
形態変化を検討します。

4. 個人情報の取り扱い

症例調査票には、住所、氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。

研究に使用する情報は、対象者が第三者により特定できない符号化による匿名加工化を行い、歯科矯
正学講座森川泰紀助教の管理のもと、当講座研究担当者のみでの取り扱いとなります。

5. 研究に関する情報公開の方法

本研究の成果は学会や科学専門誌などに使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が
公開されることなく、個人情報は守られます。

6. 研究協力者に生じる利益および不利益

本研究は既にある患者様のレントゲン写真、CT画像および歯列模型を使用して、新たな検査などは行
いませんので、患者様に研究によるご負担や不利益はございません。

7. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。

8. 本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書
をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出お願い致します。それによって、患者様が不利
益な扱いを受けることはございません。

お問い合わせ先

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究責任者 森川 泰紀

連絡先 043-270-3903(矯正科受付)